

令和元年度 岩手県立盛岡農業高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～ 「 2019 もりのう働き方改革プラン 」 ～

盛岡農業高校では「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状	3 取組内容	
<p>本校における現状は次の通りであると認識し、具体的な取組と数値目標を設定した上で改善に努めます。</p> <p>1 時間外勤務 H29 80h以上3名, 100h以上1名 (月平均) H30 80h以上3名, 100h以上4名</p> <p>2 H30休暇取得平均日数 年次:14.9日 夏季:4.4日</p> <p>3 H30寄宿舎当直担当日数 毎月約1.5回の担当</p> <p>4 農場当番配当回数 毎月約2回</p> <p>5 保健指導等 ①産業医による保健指導:過去3年間 なし ②メンタルヘルスセミナー:過去3年間 各1名 ③心の相談事業:過去3年間 計1名</p>	(1) 教職員の負担軽減	(2) 教職員の健康確保
	<p>学校課題の把握と改善に向けた提言を協議する機会を定期的に設定し、早期の取組に繋がります。</p> <p>ア 校務補助員の活用 イ 部活動指導員の活用 ウ 各種文書の簡素化 エ 復命の口頭報告化 オ 職員会議のペーパーレス化 カ 各種行事の簡素化 キ 虚礼廃止 ク SC・SSWの活用 ケ 夏季学校閉庁日の増加</p>	<p>教職員の健康な毎日に繋げるために、次に掲げる県の働き方改革プランの取組と学校独自の取組を、確実に推進します。</p> <p>ア 客観的な勤務時間把握 イ 管理職による教職員面談 ウ 保健指導の充実 エ メンタルヘルス研修の実施 オ 人間ドック等受診の推進 カ 運動研修の実施 キ 食育研修の実施 ク 週1回の早期退庁日設定</p>
<p>2 目指す姿</p> <p>全教職員の共通理解のもと、管理職が強い指導力を発揮し、次に掲げる望ましい職場の実現を目指します。</p>	4 具体的な数値目標	
<p>1 教職員が心身の健康を保ち、生徒のために生き生きと教育活動に励むことができる職場</p> <p>2 教職員が自己研鑽の時間を確保し、互いに授業力を高め合う雰囲気満たされた職場</p> <p>3 教職員が余暇を十分に活用し、家族とともに人生を豊かに送ることができる職場</p>	<p>1 時間外勤務 …月80h以上の者 0名</p> <p>2 休暇取得 …年次休暇 年間で一人15日以上取得</p> <p>3 夏季休暇 …100%取得</p> <p>4 人間ドック受診 …5名</p> <p>5 長期病休者 …0名</p>	

令和元年5月31日 岩手県立盛岡農業高等学校長 神山 秀市